

# 潮風 にのせて

## 「さんま」を保障する

～青少年の家が実施する不登校対策事業～

真夏日から真冬日へとめまぐるしく気温変化し体温調節が追いつかない晩秋でした。いつまで紅葉は続くのかと不安でしたが、ようやく落葉し、木々の冬支度が完了しました。

大分県では、平成6年に不登校対策事業を開始し、大分大学をはじめとする多様な関係者と連携しプログラム開発や子供のコミュニケーション力の伸長などをめざし実施してきました。

本年度、九重青少年の家は「住」、当施設は「食」をテーマに1泊2日の「ふれあいキャンプ」を全6回実施したところです。このキャンプの特徴は、以下の4点です。

- ①大学生との出会い（参加者1人に大学生1人）
- ②選択活動（自由時間にすることを自分で決定）
- ③保護者懇談会（自由参加）
- ④半日一活動（体験からの学びとゆとりある活動）

では、めざす事業の姿について紹介します。一つ目は、「可能な限り活動にひたれる」活動時間の保障です。初めてキャンププログラムを見た大人からは必ず「こんな少ない活動で間が保つのか」と疑問をもたれるくらいゆったりしています。が、終わりの時間は厳守です。

二つ目は、「自由時間を設定し青少年の家が居場所の一つとなる」空間の保障です。キャンプ中は大学生が共に過ごしますが、自由時間には同じ年代の参加者が遊びを決め群れて遊ぶ姿を見ることができます。一緒に遊ぶならゲームもあり。大学生と施設内を自転車で散策することもあります。1日目と2日目の両日も自由時間を設定しているため、「この時間が一番楽しみ」といった声も聞かれます。

三つ目は、「同年齢、異年齢と交流できる」仲間の保障です。何度か参加すると参加者同士で顔見知りになります。大学生を仲介に遊びが始まります。大学生からの承認を受け取り、参加者からの疑問を一緒に考えながら、共に活動する仲間になれるよう努力します。

こうして、人と過ごす楽しさは人を動かすエネルギーとなり、人の中で過ごしながら、人との距離感や折り合いの付け方を学びます。

「時間・空間・仲間」の「三間（さんま）」を「ふれあいキャンプ」では保障し続け、社会に踏み出すための一つのステップであればと、参加者の顔を思い浮かべながら企画実施しています。



# 事業報告

## Autumn Camp in Kakaji

### ふれあいキャンプ -自分で選ぶ-

11月25日(土)～26日(日)の1泊2日で不登校傾向にある子どものためのふれあいキャンプを開催しました。森の中で火起こし体験やどんぐりストラップづくりをする活動と魚釣りをする活動の中からどちらか選んで取り組みました。また、秋の夜空の下でスエーデントーチを体験しました。2日目は、「かかち屋台村」を出して、たこ焼きや焼きそば、べっこう飴を作りました。作りたいものや食べたいものを選んだり、作ったものをつぎ分けたりして、おいしくいただきました。

#### ー保護者アンケートー

- ・初めて釣りをすることができました。メンタルフレンドさんたちと楽しく話ができてよかったと思います。また、自分の作ったタコ入り焼きそばが全部食べてもらって喜びを感じていました。
- ・子どもの参加初日の顔と最終日に迎えに行ったときの表情を比べたときに、とても成長を感じました。



### 生き活きオータムキャンプ

- ー竹で炊飯、協力してちゃんこ鍋づくりー
- ーロープを使って、森の遊び場づくりー

10月28日(土)～29日(日)に、生き活きオータムキャンプを開催しました。小学4年生から中学3年生を対象に30名が参加しました。初日の野外炊飯では、真竹を切って米を炊くことに挑戦しました。初めて竹で米を炊いた子どももいて、食べた時のおいしさに驚いていました。2日目はロープを使って「森の遊び場づくり」をしました。もやい結びやよろい結びなどのヒモの結び方を学んだ後、木と木をロープでつなぎ、それをバランスよく伝って楽しみました。

#### ○参加者の声 ～子ども～

- ・ちゃんこ鍋づくりにがんばりました。調味料を少しずつ入れて味を調整したところが難しかった。家に帰ったら、お母さんに材料を買ってもらい家で作ってみたいです。
- ・野外炊飯が楽しかった。竹を切って、その竹に米を入れて炊くことにびっくりしました。とても楽しかった。2日目のヒモを木に結んで森に遊び場を作ったのも楽しかった。実際に遊んだときに、ゆらゆらしてバランスをとるのが難しかったけど、落ちずに進めた。
- ・このキャンプで色々な人に話しかけて、成長したと思います。また冬のキャンプも行きたいです。

#### ～大学生サポーター～

- ・何も言わなくてもテントを自分たちで片付けていて、子どもたちの成長を感じた。
- ・大学生サポーターとして、子どもと仲良くできるか心配だったけど、少しずつ子ども同士も私も打ち解けて仲良くなってサポーターとしてうれしかった。
- ・最初は不安でしたが、子どもの方が積極的で話しかけてくれたのが、うれしかった。子どもたちと触れ合うことがあまりなかったので、2日間とてもよい経験になった。

#### 1日目

- 竹飯・ちゃんこ鍋づくり
- テント設営



#### 2日目

- ロープワーク
- 森の遊び場づくり



## 体験活動ミーティング 森フェス

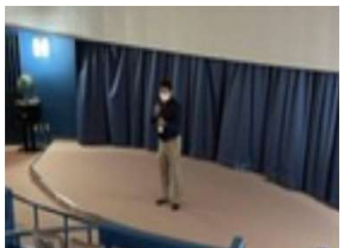
11月19日(日)、寒い風が吹き抜ける中、「森フェス」を開催しました。延人数912人。来場者はロープを使っての木登り体験、スラックライン、ネイチャークラフトなどのアクティビティを楽しんでいました。NBU日本文理大学の学生ボランティアの協力もあり、参加者が楽しめる催しとなりました。



## さようなら プラネタリウム

全5回  
総参加者数 207名

11月上旬から12月上旬まで毎週日曜日、全5回にわたってプラネタリウム上映会を開催しました。約13年にわたって現行のプラネタリウムを使用して、職員も思い思いに操作、解説をしました。新しい機器での上映会は4月上旬を予定しています。最新の機器でリニューアルしたプラネタリウムを楽しみに待っています。



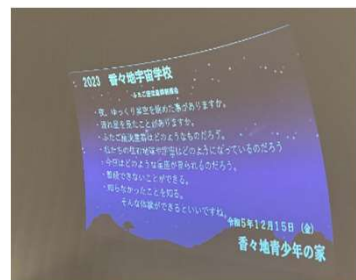
## 地域育樹活動 -ジビエ試食会-

11月25日(土) 全国育樹祭の関連イベントが昨年に引き続き当施設を会場に開催されました。木々の剪定や森の環境整備にも協力していただきました。活動後は、イノシシの丸焼きの実演があり、子どもから大人まで興味津々で見入っていました。



## 香々地宇宙学校 ふたご座流星群観察会

12月15日(金)、ふたご座流星群観察会を開催しました。講師に山本輝昭様を迎えて、惑星や冬の星空について解説していただきました。8組の家族を含め22名が参加してくれました。当日は雨天のためプラネタリウムでの学習会に変更しての実施になりました。



## 催し案内

メールマガジン  
会員募集中!  
kakadi@mamail.jp

冬でも楽しめる催し満載!  
詳しくはホームページをご覧ください。  
メールマガジンでお知らせします!

## 生き生き ウインターキャンプ

順次募集

2月17日(土)~18日(日) <1泊2日>

<対象> ■小4~小6 ■30名程度

## しいたけコマ打ち体験

順次募集

2月11日(日)

<対象> ■10家庭程度

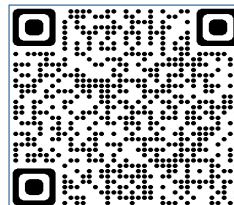
## NBUものづくり教室

順次募集

3月9日(土)

<対象> ■ものづくりに興味のある  
子ども 150名

香々地青少年の家





詳細はホームページでご確認ください


# キッズ アドベンチャートレイル

六郷満山 古の歴史を訪ねて

国東半島は、1300年もの歴史を持つ山岳仏教文化「六郷満山」が栄えた場所。子どもたちが豊かな自然に触れながら、郷土の歴史、文化、自然を肌で感じることができる企画です。

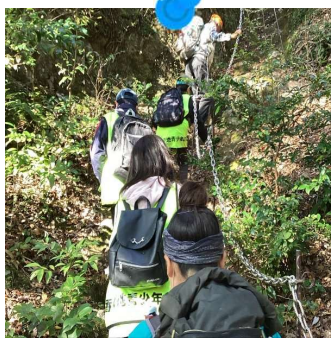
 鬼と観音様に出会う道 R3.10.31

 清らかな水と山を満喫する道 並石ダム～鬼会の里 R3.12.18

 パワースポットストーンサークルに続く道 猪群山 R4.1.30





世界農業遺産 田染荘 展望台





七不思議と出会う山道

 両子山七不思議めぐりと両子寺 R4.11.27

 ストーンサークルに行こう R4.11.13

 修正鬼絵の歴史をたどろう R5.1.8


 六郷満山を堪能しよう R5.1.22

 夷谷を探険しよう R5.2.5



国東半島のど真ん中 両子寺の紅葉も満喫

 国東の世界遺産を駆け巡ろう R5.12.10

 鬼が一夜にして築いた五輪塔群で歴史を体感！ R5.10.15

### 参加者の感想から

- ・磨崖仏は昔の人が作って、今も残っているのがすごいと思った。鬼の話も興味深かった。
- ・山頂まで急な坂が続いて大変だったけど、山頂からの景色はとても綺麗で達成感があった。
- ・国東の文化や自然、吉弘城の話などがおもしろくて勉強になった。





ユネスコ無形文化遺産 楽庭八幡社

# キッズ ロングトレイルキャンプ

テントを背負って 勇気・挑戦

子どもたちが自らの力でキャンプ道具を運び、テントで山の中に泊まる体験を通して困難に立ち向かう心を養うことができる企画です。

 坊がつるキャンプ R4.10.1～2  
R5.9.23～24

 並石ダムキャンプ R5.11.11～12



### 参加者の感想から

- ・思ったよりもきつかったけど、最後まで歩いてよかった。
- ・山の中で泊まるのはドキドキしたけど、とても楽しかった。
- ・山頂から、キャンプでテントを張って泊まったところが見れたのでよかった。

# 峰道

海と星のミュージアム  
大分県立香々地青少年の家

TEL:0978-54-2096

FAX:0978-54-2152

E-mail: a31514@pref.oita.lg.jp

